

2019年1月15日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

「関西電力」と「頭ほぐし専門店 悟空のきもち」との 自動運転車両を活用した移動空間サービス事業化に向けた共同研究契約の締結

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、関西電力株式会社（社長：岩根 茂樹、以下「関西電力」）および株式会社ゴールデンフィールド（社長：金田 淳美、以下「悟空のきもち」）との三社による、低速短距離自動運転車両活用による移動空間サービス事業化検討の共同研究契約締結と実証実験を開始しました。

1. 背景と目的

自動運転技術は、過疎地域での新たな交通手段やドライバー不足の解消など、社会的課題解決に向けた技術として期待されています。昨今では、自動運転技術を活用した目的地までの移動に注目し、移動による都市のデザインの再構築や移動中におけるコンテンツ提供など、新たな「移動の価値」創造への期待も高まっています。

このたび将来の自動運転時代を見据えた低速短距離インフラモビリティ事業開発を推進する関西電力の「iino プロジェクト^{※1}」、日本初の「頭のほぐし専門店」として話題を集める悟空のきもち^{※2}、「安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」提供を使命とする損保ジャパン日本興亜は、三社連携により「自動運転車を活用した移動空間サービスの事業化」の検討を進め、新たな「移動の価値」創造と提供に向けた共同研究を進め、2019年春の事業化を目指します。

※1：ボトムアップ型のイノベーション・プロジェクトを自発的に立ち上げ実践する関西電力グループの若手社員を中心としたコミュニティ。

※2：日本初の頭のほぐし専門店として2008年京都に開店し、ドライ（無水）ヘッドスパサービスを提供している。

2. 各社の役割

① 関西電力

- ・ 低速短距離自動運転モビリティの提供
- ・ 移動による街デザイン構築の検討

② 悟空のきもち

- ・ 自動運転モビリティを活用したリラクゼーションサービスのビジネス化検討

③ 損保ジャパン日本興亜

- ・ 自動運転モビリティサービスの安全性向上支援（リスクアセスメント）と固有リスクの分析
- ・ 無人自動運転活用サービスの事業化に対応した保険商品サービスの開発
- ・ トラブルが起きた際の見守りサービスの提供
（遠隔型自動運転運行サポート施設「コネクテッドサポートセンター^{※3}」の活用検討）

※3：無人の自動運転車の遠隔監視・操舵介入と、事故トラブル対応等の総合サポートの研究を目的とした施設。
（参考リリース：https://www.sjnk.co.jp/~media/SJNK/files/news/2018/20180928_1.pdf）

3. 今後について

三社連携による研究を加速させ、「自動運転の先端技術」と人が提供するサービスの融合による「安心・安全で豊かな社会の実現」に取り組んでいきます。

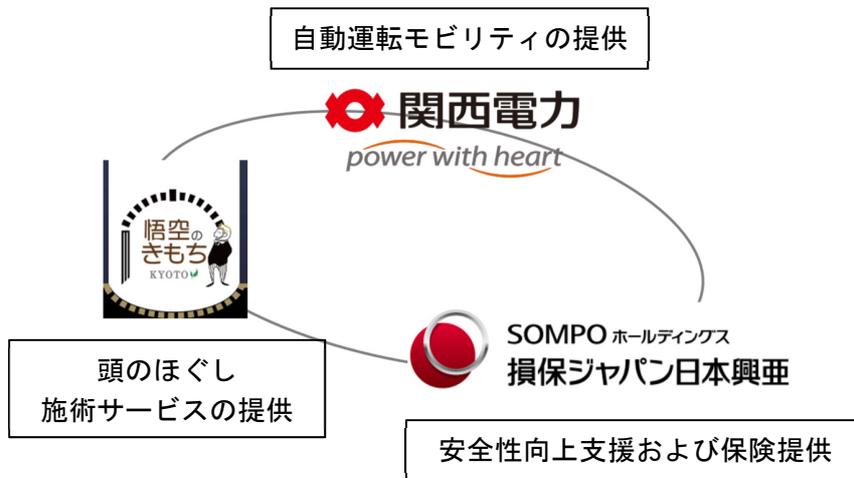
以上

別紙

＜自動運転者を活用した移動空間サービス事業の概要＞

「リラクゼーション×時速5キロ」をコンセプトに、『iino』の時速5キロで自動走行するモビリティ上に畳を設置し、日本初の「頭のほぐし専門店」として話題を集める「悟空のきもち」の施術を提供する。

- (1) サービス内容：移動式（時速3～5 km）ドライヘッドスパ
- (2) 開始時期：2019年4月～6月（予定）
- (3) 実施場所：リゾート地等、道路交通法の適用のない場所
- (4) 実施者：関西電力株式会社、株式会社ゴールデンフィールド
損害保険ジャパン日本興亜株式会社、
- (5) 実施イメージ：



【関係各社の概要】

◇関西電力株式会社

設立：1951年（昭和26年）
代表者：岩根 茂樹
所在地：大阪市北区中之島3丁目6番16号

◇株式会社ゴールデンフィールド

設立：2008年（平成20年）
代表者：金田 淳美
所在地：大阪府大阪市福島区福島1-1-12

◇損害保険ジャパン日本興亜株式会社

設立：1888年（明治21年）
代表者：西澤 敬二
所在地：東京都新宿区西新宿1-26-1